

ソフトボールを 応援しよう!

2030年に開催される「島根かみあり国スポ・全スポ2030」。飯南町では、国スポの正式競技としてソフトボールの試合が行われることになっており、おとし、新たにソフトボールチームが結成。国スポ開催に先立ち、取組を続ける新チーム「レッドフェイク」と飯南町ソフトボール協会を紹介します。

飯南で活躍する レッドフェイク

飯南町にソフトボールチームがあるのを知っていますか？

令和6年6月に結成された「レッドフェイク」は、飯南町を拠点に、社会人ソフトボールチームとして発足。平均年齢が20代の勢いのあるチームです。飯南町、雲南市、大田市の出身者や、飯南高校の野球部に所属していた人などが加入。ルーツはそれぞれ違いますが、飯南に縁や繋がりのある選手が揃います。大学生や社会人になって、初めてソフトボールチームに入ったという選手も多く、学業や仕事のかたわら、週に1度の練習に励みます。

展開が早いのが面白いポイント

「年齢が若いチームだからこそ、仲の良さやタフさがある」と話すのは、キャ

プテンで飯南町出身の飯島義仁^{よひこ}さん。出雲市で仕事をしながら、ソフトボールの練習や大会に参加しています。飯南高校の野球部キャプテンとしても活躍し、レッドフェイクでもチームを率います。ソフトボールは、野球とは似て非なるスポーツ。野球経験者といえども、ルールの違いや試合のスピード感に驚くと飯島さんは言います。「ピッチャーからバッターまでの投球距離や塁間の距離が短い分、試合の展開が早い。やってみると野球とは全然違うスポーツだと感じましたし、別の面白さがあります」と話します。

楽しくやっていることが チームの持ち味

「昨年、キャプテンに誘われてチームに加入した」と言うのは、センターを守る本田純平さん（雲南市）。「未経験でもソフトボールが好きなたちが集まって楽しんでやっています」と話します。本田さんは町外出身ですが、飯南高校野球部に所属していました。高校卒業後に町外へ出ましたが、レッドフェイクに加入することで、飯南とのつながりを持っています。

「ソフトボールチームが飯南町にあることを知らない人も多いと思う。高校時代に、飯南町の皆さんが野球部に応援してくれていたのを覚えていいます。あの時と変わらず、今も頑張っているよと伝えたい」と、本田さんは笑顔で話しました。

審判員・記録員の育成も不可欠

ソフトボール大会を開催するにあたって欠かせない存在なのが、審判員と記録員です。審判員は、公正・公平な判断のもとに試合を円滑に進行するのが役目。試合中の全てのプレーを正確に記録し、審判やアナウンス係と連携しながら試合の進捗管理に務めるのが記録員です。

令和4年8月に設立された飯南町ソフトボール協会には、審判員が20人、記録員が8人所属しています。

「できることはしたい」と 審判資格を取得

審判委員長を務める宇治田崇宏さん（下米島）は、飯南町ソフトボール協会の発足と同時に審判の資格取得を目指しました。国スポ・全スポのような全国大会で審判ができる第1種審判員の資

格を取るまでには、数年間の審判としての実務経験が必要です。

ソフトボールは塁間が短く、選手やボールの動きが速いなどすべてがスピード。審判員は瞬発的な判断が求められます。「試合の中では常にさまざまな部分に気や目を配らないといけない。難しい判断になる場面もありますが、培った経験と感覚で判断していく必要がある。日々勉強です」と、審判の難しさを話しました。

ソフトボールは「生涯スポーツ」

ソフトボールは年齢に合わせて部門が分かれています。レッドフェイクは15歳以上で編成される一般男子チームですが、「シニア」「ハイシニア」など部門ごとに年齢制限があるため「年齢を重ねても、長く楽しめる生涯スポーツ」と宇治田さんは言います。

来月13日には、頓原町民野球場を会場

に、一般男子の部で行われる島根県大会にレッドフェイクも出場する予定。飯南町ソフトボール協会も運営を担います。「町内で行われるソフトボール大会が盛り上がるように、少しでも力になりたい」と、宇治田さんは話しました。

宇治田 崇宏 さん

飯南町ソフトボール協会 審判委員長

赤来地区ソフトボール大会で、試合の運営や審判をしていたことがきっかけで声が掛かり、正式な審判員の資格取得を目指しました。1年前、公認審判員の第2種を取りました。全国大会で審判ができる第1種取得の認定会は、さらに1年間の経験を積むと受けられます。レッドフェイクが結成されたこと、町内でソフトボール大会が開催されることは飯南町にとって大きなこと。試合がある時には、ぜひ球場まで試合を見に来てください。

本田 純平 さん

守備 センター

キャプテンとは飯南高校野球部と一緒に切磋琢磨した仲です。冷静な判断をしてくれるので、チーム全体が引き締まります。どんな時でも浮き沈みしない安定したチームづくりをしたい。国スポに向けてこれからも試合が行われますが、野球部時代に応援してくれていた町民の皆さんに、ソフトボールでも活躍する姿も見てもらいたいです。

キャプテン 飯島 義仁 さん

守備 ピッチャー・セカンド

野球の経験しかなかったですが、ソフトボールはやってみると野球とは全然違う競技でした。野球にはない、浮き上がるような変化球や、試合のスピード感を楽しんでもらいたい。国スポ開催までまだ年数がありますが、まずはチームが継続して活躍できること。20歳代前半の若い選手も多く、飯南町のチームとして続けていくために、彼らにも頑張ってもらいたいと思っています。

プレーする人も
支える人も。
地域に広がる
ソフトボールの輪

自分を越え、神話をつくれ
島根 **かみあり**
国スポ・全スポ
2030